

世界遺産登録記念企画展

つちおと

# 薩摩に響いた鉄音

～明治日本の産業革命遺産と集成館事業～



日本近代化の起点が  
ここにある――

幕末から明治にかけて近代化の  
鉄音が響いたところ――

日本初の西洋式工場群は「集成館」  
と呼ばれています。

**2015.10/23(金)～11/30(月)**

時間/8:30-17:30

\*年中無休

10月13日(火)から22日(木)は準備工事  
のため、建物内の見学はできません。

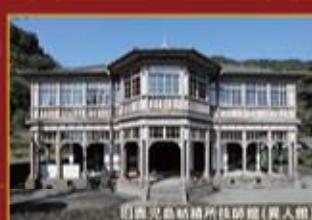
■会場 旧鹿児島紡績所技師館(異人館)  
TEL 099-247-3401

■入館料 大人 200円  
小・中学生 100円

■駐車場 5台(無料)

■所在地 鹿児島市吉野町9685-15

■主催 鹿児島市  
(世界文化遺産推進室)  
TEL 099-216-1504



■会場アクセス  
JR鹿児島中央駅からカゴシマシティビュー、まち巡りバスで約30分、「仙巖園前」下車、徒歩約2分

## ACCESS MAP



Illustration & Directed by Koki Sunada + OFFICE FIELDNOTE

## 明治日本の産業革命遺産と集成館事業

幕末から明治にかけて、日本の産業は飛躍的な発展を成し遂げました。平成27年7月、世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」は、その中でも特に、製鉄・製鋼、造船、石炭産業という重工業の分野において、西洋の技術をわずか50年余りで習得し、適応した成功例を示す遺産群です。そのうち、鹿児島市には3つの構成資産があり、これらは、薩摩藩主島津斉彬が興した集成館事業の痕跡です。そこでは、製鉄、造船に留まらず、紡績、ガラス、蒸気機関など多岐にわたる事業が展開されました。集成館はまさしくわが国における産業革命のさきがけであり、関連する遺産群は日本近代化の源となった大事業の痕跡を未来に伝えるものです。



明治5年の尚古集成館

### 集成館周辺散策地図 磯地区



### 旧鹿児島紡績所技師館(異人館)

鹿児島紡績所に蒸気機関や紡績機械を据え付け、稼働させるために英国人技師たちが招かれた。彼らは和瓦を葺いたこの木



造洋館を宿舎とし、薩摩の人びとに紡績のノウハウを教えた。その成果は日本初の機械式紡績工場設立という形で実を結び、わが国の紡績業に多大な功績を残すことになった。

